

第5回水木しげるロードリニューアル基本計画・基本設計検討委員会 議事概要

日 時 平成27年1月29日（木） 13：30～15：15
場 所 境港商工会議所 大会議室
出席者 別紙

1. 開 会

2. 委員長挨拶

水木しげるロードを歩いてみて、最近頓に来訪者が減っている。これまで出雲大社の遷宮の恩恵を受けてきたが、このままでは、じり貧である。このリニューアルを皮切りに、マスコミから全国へ情報発信していきたい。

今回の委員会は、これまで議論されていないブロンズ像、植栽配置等について堀教授から説明いただく。それに対して委員さんからの意見をいただきたい。さらに2月2、3日の部会で議論していただき、第6回の委員会で意見を頂戴したい。

3. 基本設計案の説明（堀教授）

基本設計案がほぼ出来上がってきたため、説明後に皆様の意見をいただきたい。基本的に4綴りの資料（平面図）を見ていただきたい。他の資料は補足で使用する。

水木しげるロードが出来た当初は、地元の住民のために作った生活道路であり、いわゆる普通の商店街だったため、観光客がこんなに訪れるとは想定していなかった。

名所と言われる観光地は、ホスピタリティがしっかりしている。具体的には、ベンチ・休憩スペースがある。しかし水木しげるロードには、ベンチ・休憩スペースがない。

私たちは、楽しそうな姿を見ると楽しくなる。楽しさを生み出すポイントは、楽しそうな人と見る事。そのためには、ベンチが必要である。地元住民はベンチに座らないが、観光客は楽しそうなベンチがあれば必ず座る。そのため、ベンチ・休憩スペースを増やした。

今の水木しげるロードは対面通行のため、ベンチを置くスペースがない。そこで、一方通行にして、スラロームにする。それが前回までの線形設計。それに加えて、ベンチ・休憩スペースを設けた。

次に彫刻（ブロンズ像）であるが、今の彫刻には問題がある。まず向きである。今の彫刻は店側を向いているため、観光客は店を見ない。彫刻の向きは大切である。観光客がお店の方を見ないといけない。それともう一つ彫刻

の所に行きたくなるのは、10メートル先の彫刻が見えないといけない。

それと3つ目は、撮影スペースが必要である。今は1メートルくらい引かないと写真が撮れない。できれば家族や友人と一緒に撮りたいため、3メートルくらいの距離が必要。

4つ目は、座りながら彫刻を見たい。観光地に観光に行っても疲れたら、とりあえず座りたい。そのためにも、彫刻の配置を総取り換えし、全ての彫刻が道路側を見るようにし、ベンチ等を設けた。

次に、お店の売り上げを上げないといけない。お金を落としてもらう必要がある。このことで若年層の流出を防ぐことができる。お店の活性化につながる仕組みが必要。

また夏場は暑いので、緑陰を施した。また、ユニバーサル対応も行った。

駅前の県道から市道になる所をスタートに設計したので説明する。

【図面1ページ】

三平茶屋のところに35番「河童」を設置。9月に私の配置案を提示したところ、委員会、水木プロから指示があり、反映させた。「河童」の対角線上に、千代むすび酒造があり、写真撮影の背景となるようにした。写真スポットとなるように、木のデッキの横に「河童」を配置した。その横に波型のベンチを設置した。少しでも興味を持ってもらえるように、緩やかに波をデザインし、北側に4基、南側に5基用意し、北に2.5メートル、南に3メートル距離をとった。全部で9体の彫刻をベンチに組み込み、すべて道に直角よりも斜めに設置した。基本的に背景に街並みが写るよう配置した。

大正町は彫刻が少ない。大正町を楽しい場所にして、楽しんでもらいたい。また、大正町には、新しく彫刻を設置したい。

南側の朝日生命は、観光客からすると大きな壁になる。緑の四角印があるが、そこには笹の木を設置した。笹を小さく切り、118番「竹切り狸」を設置し、「竹切り狸」の空間を作った。また人が入れるように1メートルのスペースも設けた。

117番「隠神刑部狸」も隣に設置した。ここはスクリーンを笹にした。このように、観光客が見入る仕掛けが必要。1体1体時間をかけて見れば、その分滞在時間も伸び、金も落ちる。ここにベンチも設置した。緑の丸と四角は植栽。

このペースで全て説明するとキリがないので、ポイントを絞って説明する。緑のハッチがあるが、これは既存の緑陰である。これまでの植栽等をすべてなくすのは良くない。10年後～20年後も思い出せる木を残したい。

妖怪神社の前には、交差点以外で唯一横断歩道を設置した。

黒と赤の図面は、どことどの舗装が違うかを示している。歩道の中の黒い線は誘導ブロックとなっている。

住民説明会の時に、舗装の説明をするが、交差点以外では、妖怪神社の前

のみを横断歩道の舗装としている。

みなと家旅館両サイドは、唯一ウッドデッキを設置する。ここには神様関係のブロンズ像を設置した。妖怪神社前は特別なスペースにしている。大正町を盛り上げるには、妖怪神社の前を整備する必要がある。

黒い四角の上の彫刻は、ウッドデッキの上に置く。これらの彫刻は、高さが低く、写真も撮りづらいため、デッキの上に設置した。111番「鉄鼠」は、ウッドデッキの上に乗せた。

四角いところにベンチ、デッキ、縁台を置いた。縁台で写真を撮っている間に「泥田坊」を見えるようにした。

【図面2ページ】

一番左側、大正川に橋があるが、水木プロより要請があり、ここに水木漫画に出てくるキャラクターを設置した。

今悩んでいる所がある。いけびんストアの前に、「河童の三平、タヌキ、河童」を設置したが、サイズが大きい。今後大正橋のところに置けるか検討する。

基本的な考え方は、人気がある写真スポットになるには、ベンチ・縁台は置かない。

橋を渡ったところに、「鬼太郎とお父さん」、「魔女の花子」を置いた。

トイレでは、お父さんが立って待っていることが多いため、トイレの前にベンチを置いた。彫刻とまちがセットになって、いろんな座り方ができるベンチを設置する。

妖怪工房、竹内の前にベンチがたくさんあるが、ここにはベンチと彫刻をセットにし、7つの妖怪を水木プロの指示の元、配置した。今後の詳細設計で検討する。

【図面3ページ】

鬼太郎ファミリーを入れた。等身大の「ねずみ男」があるが、子供が「ねずみ男」に寄っていくように、前には、空間を作った。

「ねこ娘」は、写真を撮るときに見えるように設置した。「鬼太郎のゲタ」と「鬼太郎」は、少し距離を離れた。等身大の「鬼太郎」は、目立つようにデッキの上に乗せた。今「一反木綿」は「髪切り」と一緒だが、関係ないため、距離を離れた。また、山の影に隠れる形になっているため、写真がとりにくい。

「こなき爺」と「砂かけ婆」はセットにした。

【図面4ページ】

この辺りでは、休みたい人が多くなって来るため、ベンチを多く設置し、電柱は移設予定。その結果ベンチが増える。そこにレリーフを集めており、休みながら見られる。今は植栽がレリーフより前に出ているので、逆にした。植栽・ベンチ・レリーフを集めて、人が休めるようにした。

3つの縁台・ベンチでコの字をつくり、休めるスペースを作る。

アーケードの見せ方は、西本町までのものとは違うデザインを施す。道路に妖怪の絵を描いてはどうか。駅から来た人が見ると、縦の絵巻物のような形にする。また帰る人にお尻を向けないように、所々妖怪の向きを変える。

アーケードは、歩道と車道ともにフラットにし、車道のみとした。

【横断図】

横断図は、上は荷捌きスペースがないバージョンで、下は荷捌きスペースがあるバージョン。

(事務局補足) 横断図の上の図面の左側3.5メートルに、側溝が一つ多くあるため、左から2番目の側溝を削除願いたい。

4. 意見交換

○委員

駅前から県道にあるブロンズ像は、なくなるのか。

■事務局

ブロンズの配置は、水木ワールドの世界で集約している。新しいブロンズ像を含めた配置計画は今後作っていく。

○委員

休憩スペースの他に、イベントスペースが必要。朝日生命の前など、雨風を凌げて、イベントができるスペースが必要では。

●堀教授

そういうニーズがあれば、対応できる。そのあたりの考えを整理していただきたい。

●委員長

部会での議論が必要である。

○委員

シャッターや道路に絵などを描いて、アーケードを物語的にしてもらいたい。記念館前の「山高帽の水木先生像」は、雨にぬれても大丈夫か。

■事務局

「山高帽の水木先生像」は、移動させる予定はない。

○委員

ベンチ・縁台の材質は何か。

●堀教授

木にしたいが、耐久性を考えるとプラスチックが良いかもしれない。昭和レトロがメインテーマではあるが。

○委員

竹材のベンチも良いと思う。

●堀教授

公共施設であるため、耐久性は必要。素材については、地元の理解も必要であるため、今後議論が必要。

●委員長

道路の妖怪を踏みつけるのは良いのか。

○委員

大丈夫だとは思いますが、水木プロへの確認が必要。

ゴールデンウィークは、非常に多くの観光客が来る。一番ピークの際は、団子状態になるが、ベンチは邪魔にならないのか。

「一反木綿」は、今小さいため、人気がある分大きくしても良い。

妖怪神社の前、記念館の前の横断歩道は、歩道なのか車道なのか。

●堀教授

ベンチは、邪魔になることよりも、事故が起こることがマズイ。そういったピーク時の対策として、すべてを公共財とせずに、いくつか民間が設置してはどうか。

やはり良い観光地には、ベンチが多く置いてある。一年に何度か通りにくい日があったほうが良い時もある。人が多いことに対して、観光客は嫌がらない。

○委員

ある程度ピーク時も想定してもらえば良い。ゴールデンウィークに7万人来たときは、車道も満杯になったため、意見として挙げた。

○委員

ゾーニングもできているので、『〇〇参道』などの道しるべがあっても良いのではないかと。『これより山陰妖怪』『これより鬼太郎一家』など

○委員

細かくブロンズも配置されてきて、ワクワクしているが、音の効果もあっていい。今、ゲタの音の効果が2つあるが、鹿野町では、小川のせせらぎを流していた。妖怪のおどろおどろしい音や、ミストが出てきたりするなど、目で見て、音を聞いて、肌で感じることも提案したい。

●堀教授

実際、ロード沿いのお店で音楽を流しているところもあるので、調整する必要がある。自然の音と人工の音は全く違うため、検討の余地がある。そのアイデアを沿道で考えるのも良い。

○委員

2カ所の音の設備は移動させるのか。

■事務局

今日の図面には、あえて載せていないが、今後検討していく。

○副委員長

道路へのアートや、ブロンズの増設を、ロード以外の横道などに行う構想はあるのか。

■事務局

今回は、ロード本体の検討である。脇道の議論は、今後検討の必要がある。

○委員

本町アーケードの右側（西側）に高台を作って、高いところからロードを見ることができるしかけを提案したい。

■事務局

今後議論の必要がある。道か沿道かという縛り等もある。

○委員

水木ロード振興会で以前、無線LANの整備や防犯カメラの増設を検討していたが、リニューアルの話が持ち上がり保留していたが既に1年が過ぎてしまった。

■事務局

本年度中に無料公衆無線LANは、防災ステーションという位置づけで、駅から本町アーケードまで設置予定。

防犯カメラは、既にいくつか設置している水木しげるロード振興会で検討してもらいたい。

●委員長

2月2、3日の道部会、沿道部会で、夜のおもてなし等、幅広い意見をいただきたい。

5. その他（事務連絡）

■事務局

今後の部会の予定は、いずれも市役所第1会議室にて、

2月 2日（月）19：00～ 第4回沿道部会

2月 3日（火）19：00～ 第3回道部会 開催予定

今後の委員会は、いずれも境港商工会議所大会議室にて

2月10日（火）13：30～ 第6回委員会

2月24日（火）13：30～ 第7回委員会 開催予定

以上